

算数デジタルアーカイブの開発と利用

眞喜志 悦子*¹

ベテランといわれる 50 歳以上の小学校教員の比率が上昇する一方、若手といわれる 30 歳未満の小学校教員の比率も上昇している。熟達した教員の指導力の継承が急がれるなか、岐阜女子大学では、総合的な教育実践資料を利用できる「算数デジタルアーカイブ」を開発した。

■教員の年齢構成（平成 25 年度学校教員統計調査*より）※3 年ごとに文部科学省が実施

教員の年齢構成について、平成 25 年度は、平成 16 年度の調査結果と比較して、50 歳以上の教員・30 歳未満教員の数とともに上昇している。（図 1）今後も若手の大量採用が進み、教員の低年齢化が予測される。いかに若手に指導力を身に付けさせるが課題となってくる。

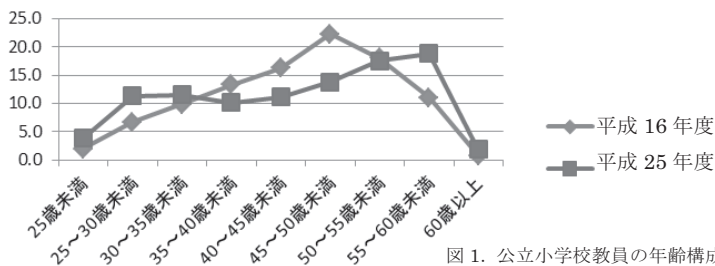


図 1. 公立小学校教員の年齢構成

■算数デジタルアーカイブの構成

岐阜女子大学が開発を進めている「算数デジタルアーカイブ」の構成は図 2 の通りである。これらの総合的な教育実践資料は、1960 年代後半開始された「岐阜大学 TM 委員会」や「学習システム研究会」が行った一連の研究成果が基礎になっている。

なかでも、“アナライザーを用いた集団反応曲線の分析”や、“操作言語”を中心とした言葉に関する研究等は、学習指導計画の立案や、研修会などで授業改善を検討する際に、現在でも十分に利用可能である。

岐阜女子大学ではこれらの研究資料をもとに、教育実践資料を冊子やリーフレットとして構成するとともに、これらをデジタルアーカイブすることで、現場の先生方が利用しやすいように整備を進めている。

■教育にとって必要なものは変わらない

1960 年代後半から開始された一連の研究は、本学が 2014 年から沖縄県教育庁の長尾先生らと共同で行っている教員の指導力改善のための研究にも十分活用できるなど、大変貴重な資料である。これらの資料と併せて、本学で作成した様々な教育実践資料をデジタルアーカイブとして保管・公開することで、一人でも多くの先生方に役立てていただきたい。

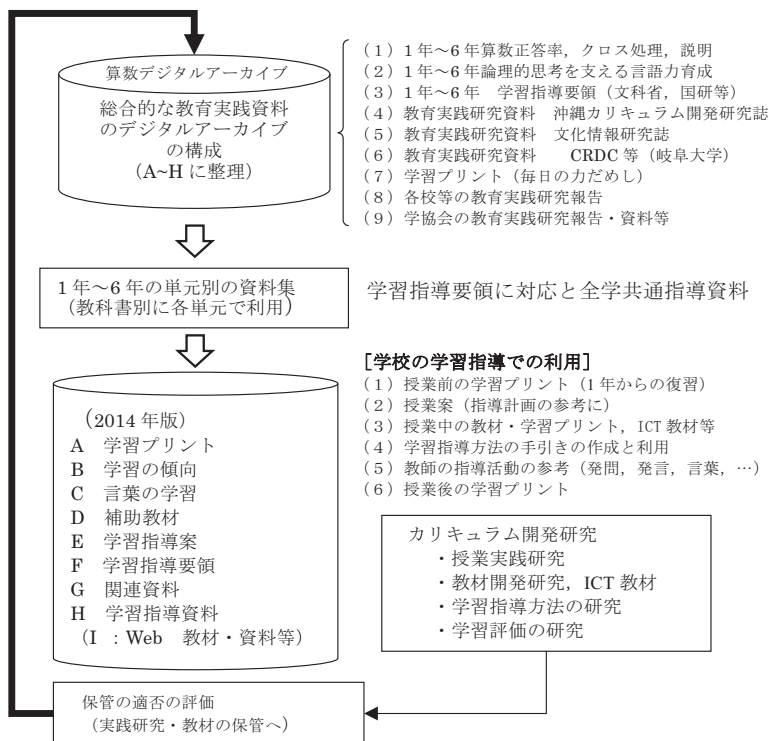


図 2. 算数デジタルアーカイブの構成図

*1 眞喜志 悦子 岐阜女子大学